

当町は健全な財政状況です

(令和3年度決算による)

自治体の財政破綻を未然に防ぐとともに、悪化した団体に対して、早期健全化を促すために平成19年6月に「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が施行されました。この法律により、健全化判断比率として4つの指標（①実質赤字比率 ②連結実質赤字比率 ③実質公債費比率 ④将来負担比率）と公営企業の経営状況を示す資金不足率をお知らせします。

健全化判断比率のうち一つでも早期健全化基準以上となった場合は、経営健全化計画を定め、財政の健全化を図らなければなりません。

令和3年度決算に基づき算定された健全化判断比率などは右表のとおりです。いずれの指標も基準を下回っており、大槌町は健全な財政状況です。

【健全化判断比率】

指標区分	大槌町の比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	15.00%	20.00%
連結実質赤字比率	—	20.00%	30.00%
実質公債費比率	12.7%	25.00%	35.00%
将来負担比率	—	350.0%	

※将来負担比率は、将来財政を圧迫する可能性を示すもので低いほど良好なものです。

各会計で赤字はありません

【公営企業の資金不足比率】

指標区分	大槌町の比率	早期健全化基準
水道事業会計	—	20.00%
下水道事業会計	—	20.00%
漁業集落排水処理事業会計	—	20.00%

公営企業においては、資金不足はありません

財政の健全度を判断する指標 4つの指標で判断します

- ▶**実質赤字比率**：地方公共団体の一般会計の赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示すものです。
- ▶**連結実質赤字比率**：全ての会計の赤字や黒字を合算し、地方公共団体としての赤字の程度を指標化し、地方公共団体全体としての運営の深刻度を示すものです。
- ▶**実質公債費比率**：借金の返済額およびこれに準ずる額の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示すものです。

- ▶**将来負担比率**：地方公共団体の一般会計の借入金（地方債）や将来支払っていく可能性のある負担などの現時点での残高の程度を指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうか示すものです。

公営企業は次の指標で判断します。

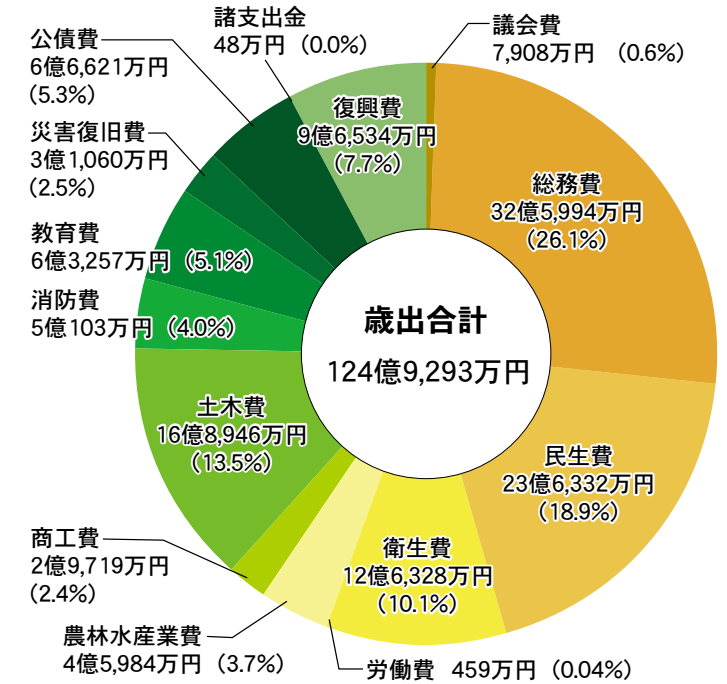
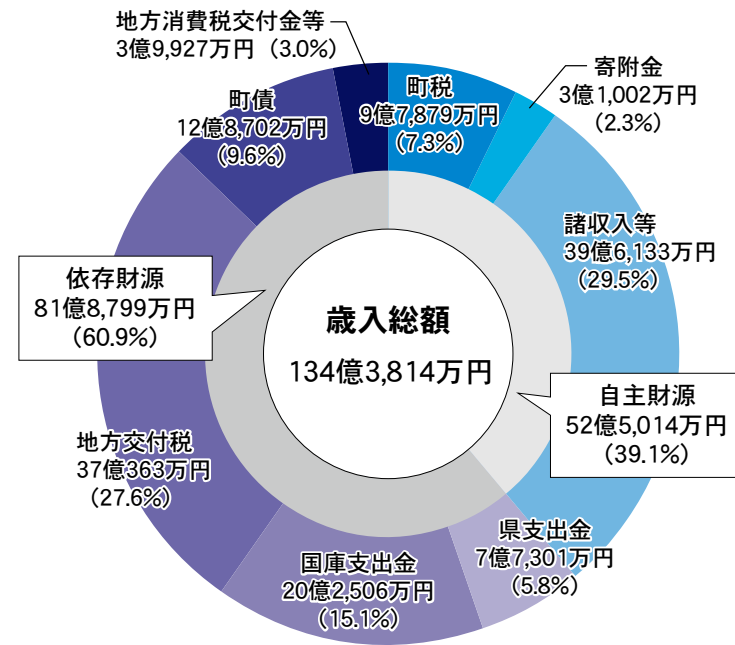
- ▶**資金不足率**：公営企業の資金不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状況の深刻度を示すものです。

活用事例

- 斎場整備事業** 5億5216万円
斎場（おおつち斎苑）の整備を行いました。
- 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金** 2億1421万円
プレミアム付商品券、飲食クーポンの発行などによる経済対策、公共施設の空調換気設備の整備など、感染症対策を実施しました。
- 保育所等施設整備事業** 1億4492万円
保育園の施設整備に要する経費の一部を補助し、保育環境の充実が図られました。
- 海水浴場関連施設整備事業** 5069万円
浪板海岸海水浴場関連施設を整備しました。

令和3年度
一般会計・特別会計

決算



一般会計の内訳

9月定例会で、令和3年度一般会計と特別会計の決算が認定されました。一般会計については、歳入（収入）が134億3814万円（前年度比69億1669万円減）、歳出（支出）124億9293万円（前年度比64億5666万円減）となりました。歳入のうち、町税や使用料などが、町が独自に確保できる自主財源は52億5014万円、全体に占める割合の39.1%でした。

一方、地方交付税や国・県補助金などの依存財源は81億8799万円、このうち国庫支出金が歳入全体で、このうち国庫支出金が歳入全体

の15.1%を占めています。また、地方交付税が27.6%、県支出金が5.8%となっていて、全体の48.5%を国・県に依存している状況です。歳出では、総務費が32億5994万円、民生費が23億6332万円、総務費と民生費が全体の45%を占めています。新型コロナウイルス感染症対策関連の経費が増加しています。復興事業の収束に伴い全体の予算規模は縮小傾向にあります。

今後も限られた財源を効率よく活用し、健全な町政運営に取り組んでいきます。

【町税の内訳】

区分	決算額	構成比
町民税	4億4,106万円	45.1%
固定資産税	3億7,815万円	38.6%
軽自動車税	3,776万円	3.9%
町たばこ税	1億2,158万円	12.4%
鉱産税	24万円	0.0%
合計	9億7,879万円	100%

【特別会計】

歳入	会計名	歳出
17億1,264万円	国民健康保険	16億1,691万円
15億4,880万円	介護保険	14億8,161万円
1億2,692万円	後期高齢医療	1億2,643万円
33億8,836万円	合計	32億2,495万円

【歳出の性質別内訳】

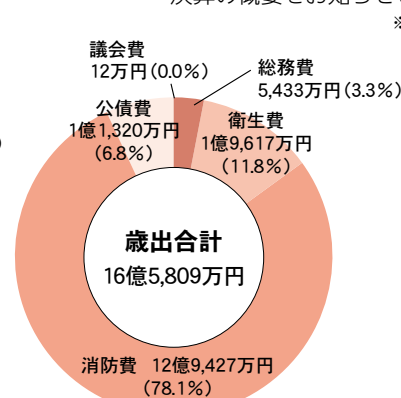
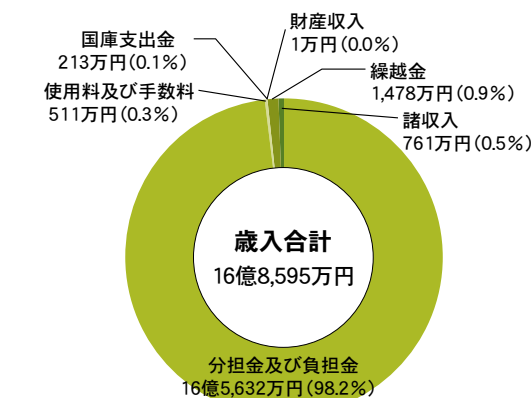
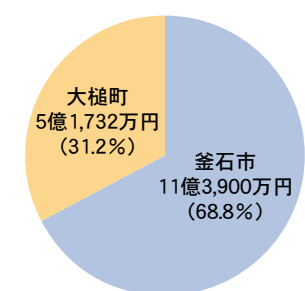
区分	決算額	構成比
普通建設事業	16億2,916万円	13.0%
災害復旧費	3億1,062万円	2.5%
積立金	15億6,215万円	12.5%
補助費等	36億2,968万円	29.1%
物件費	13億7,560万円	11.0%
人件費	11億2,616万円	9.0%
繰出金	5億7,984万円	4.6%
扶助費	13億3,006万円	10.6%
公債費	6億6,621万円	5.3%
その他	2億8,345万円	2.3%
合計	124億9,293万円	100%

令和3年度 釜石大槌地区行政事務組合会計 決算のあらまし

釜石大槌地区行政事務組合は、釜石市と大槌町からの分担金などによって、共同で消防業務や、し尿処理事業を行っています。10月24日開催した同組合議会定例会で認定された令和3年度決算の概要をお知らせします。

※四捨五入の関係で合計額などが合わない場合があります。

【分担金および負担金の内訳】



令和3年度 行政事務組合の主な事業

◎令和3年度開示請求などの状況

令和3年度において、釜石大槌地区行政事務組合情報公開条例に基づく開示請求および審査請求はありませんでした。釜石大槌地区行政事務組合個人情報保護条例に基づく、開示請求および審査請求はありませんでした。

釜石大槌地区行政事務組合 事務局 総務課 Tel 0193-31-1336